

【コミュニティ・スクール】

# 大門小学校 学校運営協議会

## 学校運営協議会とは

学校運営や当該運営への必要な支援に関して協議をする機関です。

本校においても、地域住民、保護者等の学校運営への参画や学校運営への支援及び協力を促進することにより、学校が地域住民、保護者等との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童の健全育成に取り組んでいます。

## 委員

近隣学校関係者（美園中学校長 美園南中学校長 大門幼稚園長）

地域住民関係者（のびのび教室代表 主任児童委員 青少年育成大門地区会会長）

保護者代表（PTA会長、副会長、顧問等）

学校関係者（校長 教頭 教務主任 学校地域連携コーディネーター）

学校運営協議会は年3回実施をしています。年度当初の第1回学校運営協議会では、当該年度の学校運営に関する基本的な方針について以下の全ての項目で承認を得ています。

### (1) 教育課程の編成

#### ① 「さいたま市GIGAスクール構想」の推進



一人一台のタブレットを活用し、個別最適な学びを目指します。

#### ② 暗唱検定の推進



暗唱の取組を通して、日本語の美しさや言葉のつながり、その楽しさ等にふれることができるとよいと考えています。また、繰り返し練習し、検定にチャレンジすることで粘り強く頑張る力を育成していくことも目指しています。

#### ③ はかせタイムの実施 NIE教育の推進



はかせタイムでは、基礎学力向上を目指し、国語、算数の反復学習、NIE教育等を行っています。また、タブレットを活用し、ミライシードのドリルパーク、スタディサプリにも取り組んでいます。



**(2) 学校経営計画****① あいさつ運動の実施**

代表委員会が中心となってあいさつ運動、あいさつキャンペーンを実施しています。また、毎年11月には美園南中学校の生徒会があいさつ運動に参加をしてくれています。

**② 日光御成道チャレンジ強歩の実施**

児童が自分の住んでいる地域に関心や誇りを持ち、その歴史や地域のよさを知ることを通して地域を大切にする心を育てるため、「日光御成道チャレンジ強歩」の実施をしております。大門小学校から岩槻城址公園までの約14kmという距離を粘り強く歩くことを通して達成感を味わわせ、自信をもたせるとともに「やり抜く力」を培うことも目的としています。学校と家庭、地域が一つになって取り組むことで、家庭・地域との連携を深め、子どもたちの健全育成を推進していきます。

**③ SDGs教育の推進**

本校では、歴史ある地域を生かした教材開発を行い「総合的な学習の時間」において、地域を主軸に横断的な学習を行っています。また、本校は、学校ファーム、野鳥の森等、自然豊かな環境に恵まれています。学校ファームでは、じゃがいも、さつまいも、米、大根等、季節の野菜を各学年が育て、自身が育てた食材を収穫し、給食で調理をしてもらい、食べることで、残さずに食べようという心を育てることを目指しています。野鳥の森ではキジをはじめとする多くの野鳥や、カブトムシ、クワガタ、カマキリ等の昆虫がたくさん生息しています。児童は飼育したい昆虫の環境を整えるために、住処やえさについて主体的に学び、考え、それぞれの生物にとって暮らしやすい環境をつくり、飼育をしています。このように、小学校生活6年間を通じ、豊かな自然環境を生かした学習を通して、身近な地域の環境について考えることができます。

**(3) 組織の編成 (4) 予算の執行 (5) 施設及び設備の管理**

第2回、第3回の学校運営協議会では、第1回で承認をいただいた学校運営等に関する評価をしていただいております。

このように、学校運営協議会では大門小学校の児童の未来・地域の未来のために、コミュニティ・スクールを核とした学校づくり、地域づくりを推進しています。

その成果が認められ、平成4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

